

学科	担当教員	タイトル	メッセージ・概要
日本文学科	山田 悠介	文学を深く楽しく読む方法―『BEASTARS』と『ぐりとぐら』から見つける問い	文学研究で重要なのは、おもしろい！と思える問いを見つけることと、他者と対話をしながら自分の言葉で考えることです。体験授業では、〈食〉を主題とするマンガと絵本を読みながら、ワクワクするような問いの見つけ方と、文学研究の基本的な方法についてレクチャーします。
中国文学科	小塚 由博	コメント募集中!?!―張潮『幽夢影』に見られる評語文化―	みなさんはSNS等でコメントを書き込んだことがありますか？17世紀の中国の人、張潮の『幽夢影』という格言集があります。この作品に彼の友人・知人達が多数評語（コメント）を寄せています。その様子はまるで現在のSNSのようで、作品の面白さを引き立たせています。本授業ではどんなコメントがあるのか見ていきましょう。
英米文学科	小池 剛史	<gh>の謎～どうして<night>と書いて「ナイト」と読む？～スペリングから分かる英語の歴史	英単語は読まない文字がやたらと多いですね。<night>や<daughter>の<gh>、<knight><knee>の<k>などなど。スペリングに読まない文字があるのには理由があり、それは英語の歴史を調べると分かるのです。この授業で、英語のスペリングの謎を一緒に解き明かしましょう。
教育学科	北風 菜穂子	子どものためのカウンセリング：いまの気持ちをアート・身体・ことばで表現してみよう	子どもたちにとって、自分の気持ちを言葉で表現することは簡単ではありません。多くの子どもは、表情や身体の動き、ちょっとした言葉、絵を書いたり、お話を創作したりすることで表現します。実際に体験しながら子どものカウンセリングについて考えてみましょう。
歴史文化学科	久住 真也	幕末の武士はなぜ時計を持っていたのか？	江戸時代末期、刀を差した多くの武士たちが、西洋から輸入された時計（懐中時計）を所持していたことは、意外と知られていません。近代以前の社会において、彼らはなぜ時計を求めたのでしょうか。この小さな問題を入り口に、グローバルな19世紀世界と、幕末日本の関係を考えます。
社会経済学科	小畑 崇弘	仮想社会と経済実験：エージェントベースシミュレーションの活用	エージェントベースシミュレーション（ABS）とは、現実社会を模した仮想社会を構築し、仮想社会を構成する自律した行動主体であるエージェントの相互作用によって生じる複雑な現象を実験・分析する手法です。本講座ではABSとはどんなものかや、従来の経済学的手法と比べてABSを活用するメリット等をお話しします。
現代経済学科	顧 濤	AIは経済をどう変える？技術進歩をマクロ経済学で読み解く	人工知能（AI：artificial intelligence）は近年急速に広まり、文章作成や画像生成など、かつては人間にしかできなかった作業を担うようになりつつあります。こうした技術は社会や経済に大きな変化をもたらしています。AIは味方か、それとも脅威か。過去の技術進歩とマクロ経済学の最新研究をもとに、一緒に考えてみましょう。
中国語学科	田村 新	中国語の発音の秘訣は笑いにあり！	中国語は発音が難しい言語です。一方日本語の音はどちらかというとやさしいと言われています。やさしい日本語の話者が難しい中国語の発音を上手にするためにはどうしたら良いか。それは笑うことです。体験授業ではそのコツをお教えいたします。
英語学科	ショーン ディヘヴン	ここからどうやって行けばいいの？すぐに使える実践英語	楽しい授業を通して、道案内の伝え方と受け方を学びましょう。道に迷った観光客に出会った時に使える表現を学んで使いましょう。
日本語学科	カルリノ サルバトーレ	消えゆく声を聞く、消えゆく声を守る―消滅危機言語とフィールド言語学の世界―	世界の言語は6000以上あるとされているが、半分以上が近いうちになくなる危機にある。これらの言語を救うためになにをすればいいか、というのは「フィールド言語学」の課題の一つである。この授業では「フィールド言語学」とは何なのか、消滅の危機にある言語を救うために何ができるのか、について話す。
法律学科	赤岩 順二	生成A I と刑事司法―裁判と法的三段論法、事実認定と証拠、生成A I、誰が裁き誰が罰される？―	生成AI（生成的人工知能）が身近になっています。生成AIとどう付き合っていくべきか、刑事司法と生成AIとの接点を仮想しながら、考えてみたいと思います。生成AIと刑事司法についての前提知識は不要です。実際の裁判例や捜査資料をもとにした教材にも触れ、付き合い方のヒントを考える時間を一緒に楽しく存じます。
政治学科	岡田 拓也	男ばかりの日本政治	2024年に再選を果たした小池都知事のように、近年日本でも女性の政治家が増えています。しかし最新の男女の格差指数では、政治分野において日本は先進国の中で最下位レベルです！これはいかなる背景から生じ、日本政治にどのような影響に与えているのか。本授業は統計データを用いながら以上の問いを考えていきます。
国際関係学部	小尾 淳	インドの多様性：共存と対立のストーリー	近年、目覚ましい経済発展を遂げているインド。しかし、その裏には多民族・多言語・多宗教が共存する独自の社会があります。14億人の大国が抱える課題と共存の現実について、一緒に考えてみませんか。
経営学科	関口 直樹	私たちの暮らしと貿易のつながり―衣食住から考える―	私たちの毎日の生活、実は世界と深くつながっています。着ている服、食べているもの、住んでいる家―どれも外国との貿易なしには成り立ちません。「衣食住」を通して、貿易が私たちの暮らしにどう関わっているのかを一緒に考えてみましょう。
スポーツ科学科 （午前の部）	宮城 修	回復力が早くなるための身体づくりのポイントについて	回復力が早くなるための身体づくりをするには、全身持久力を向上させていく必要があります。この能力は体力のベース部分にあたり、主に肺や心臓といった呼吸循環器系が関与しています。今回の体験授業では、回復力が早くなるための身体づくりのポイントについて、トレーニング生理学的観点から解説していきます。
スポーツ科学科 （午後の部）	河野 由	試合分析を体験！得点パターンを可視化しよう	試合分析は、試合中に起こる様々なプレーを数量化する分析手法です。体験授業では、試合の記録から得点シーンを分類し、どんなプレーが得点につながっているのかを「見える化」することで、チームの強みや効果的な戦術のヒントを探ります。
健康科学科	橋本 みのり	環境問題による自然環境の変化と私たちの生活	今、地球では様々な問題によって環境が大きく変わりつつあります。でも自分とはあまり関係がないと思ってはいませんか？地球全体の問題が自分とどう関係しているのか、これからの社会で人も自然も健全な状態であるためには何が大切か考えてみましょう。
看護学科	滝沢 隆	相手の動きを支援するために ～自分はどう動いてたっけ？～	"みなさんは、普段の生活で、自分自身のカラダの「どこ」を「どう」動かしているか意識したことがありますか？ 関節の痛みやケガなどで、本来の動きが出来なくなった場合、どのような方法で支援すればいいでしょうか。 今回の体験授業では、股関節の動きに焦点を当てて、動かしながら一緒に考えていきましょう。"
社会学科	鶴田 佳史	持続「不」可能な社会を生きのびる	「サステナブル」や「SDGs」といった「持続可能な開発」に関連する言葉を目にすることがあると思います。今、私たちの世界は持続「不」可能なシステムとなってきています。体験授業では、持続「不」可能な世界をどう生きのびるのかを、気候変動の影響を中心に考えていきましょう。